

高校生による
「振り込め詐欺等防止啓発活動」
に関する報告書

2019 年度 茨城県立土浦湖北高等学校

目次

活動の趣旨・経緯.....	1
学校概要.....	2
実施スケジュール.....	2
実施概要.....	3
* 6月	
文化祭来校者へ振り込め詐欺等防止啓発活動を実施.....	3
* 8月	
学祭 TSUCHIURA2019 において振り込め詐欺等防止啓発活動を紹介.....	5
* 9月	
講義「金融犯罪の手口と対策」を実施(講師:全国銀行協会).....	6
* 11月	
さわやかマナーアップキャンペーンにおいて啓発グッズ配布.....	7
土浦警察署長から「ニセ電話詐欺防犯標語表彰」を受賞.....	8
日立建機フェスティバルにおいて振り込め詐欺等防止啓発活動を実施.....	9
フェスティバル神立 2019 において振り込め詐欺等防止啓発活動を実施.....	10
* 12月	
朝の挨拶運動において啓発グッズ配布.....	12
「特別養護老人ホームこほく」において振り込め詐欺等防止啓発活動を実施.....	13
* 2月	
土浦警察署から感謝状を受領.....	14
常陽銀行神立支店との交流会を実施.....	15
各活動における啓発グッズの配布実績.....	16
各媒体における紹介.....	16
1年間のまとめ.....	17

活動の趣旨・経緯

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が振り込め詐欺等の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「振り込め詐欺等防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「振り込め詐欺等防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全銀協は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たっての各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」(2013年6月閣議決定)において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育においてアクティブラーニング(課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)の重要性が高まっていること、③全銀協の金融経済教育活動懇談会(2015年2月開催)において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったことなどを踏まえ、2016年度より試験的に導入したものであり、以下のような効果を期待している。

- 対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
- 教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
- アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
- 金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
- 対外PR力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

4年目となる2019年度は、新たに茨城県教育委員会下で実施校を募集し、茨城県立土浦湖北高等学校に「振り込め詐欺等防止啓発活動」を委嘱した。

※リリース(全国銀行協会 HP)

高校生による「振り込め詐欺等防止啓発活動」の実施について

<https://www.zenginkyo.or.jp/news/2019/n052201/>

学校概要

■ 沿革

昭和 57 年創立。進路では、大学等進学のために特進クラスを編成し、平常課外や夏季課外・土曜課外あるいは学習合宿等を実施し、学力の向上を目指している。

■ 教育目標

- (1) 学び続ける態度の育成と学力向上をはかる。
- (2) 自分で決められる生徒の育成を目指し、それを支援するために個に応じた進路指導の充実をはかる。
- (3) 規範意識及び安全に関する態度を育成する。
- (4) 素直に感謝する気持ちを育み、豊かな人間性・社会性を養う。
- (5) 信頼と活力を生む開かれた学校づくりを推進する。

実施スケジュール

3月	〈生徒向けの事前アンケートを実施〉
4月	〈年度全体の活動内容を計画〉
5月	〈GW 課題(特殊詐欺について、啓発グッズ、スローガン、ポスター)、特殊詐欺についての調べ学習(グループ活動)〉
6月	● 文化祭来校者を対象にスローガン・ポスター掲示(投票実施)、土浦警察署協力のもとのはり旗掲示、啓発グッズ(チラシ・ポケットティッシュ)配布
7月	〈啓発グッズの検討(ポスター、三角 POP、ポケットティッシュ、のはり)〉
8月	〈夏休み課題(啓発活動時に実施する内容について)〉 ● 学祭 TSUCHIURA2019 における啓発活動 パネル掲示、チラシ等配布 土浦警察署協力のもと、のはり旗・啓発チラシ・ポケットティッシュ配布
9月	〈啓発グッズの検討(ぬいぐるみ、キーホルダー)〉 ● 講義「金融犯罪の手口と対策」を実施(講師 全国銀行協会)
10月	〈横断幕等掲示物作成検討〉
11月	● さわやかマナーアップキャンペーンでポケットティッシュ配布 ● 土浦警察署長表彰(ニセ電話詐欺防犯標語) ● 日立建機フェスティバルにおける啓発活動、ポケットティッシュ等配布 ● フェスティバル神立 2019 における啓発活動 横断幕・ポスター・のはり旗掲示、キーホルダー・ポケットティッシュ等配布
12月	● 近隣施設への啓発グッズ配布 ● 特別養護老人ホームこほくにおける啓発活動 キーホルダー・ポケットティッシュ等配布
1月	〈朝の挨拶運動における啓発活動、ポケットティッシュ等配布〉
2月	● 土浦警察署長表彰(令和元年度感謝状贈呈式) ● 常陽銀行神立支店との交流会
3月	● 活動後アンケート実施 ● 活動のまとめ

実施概要

「生徒自らが情報発信し、地域に貢献できるようになること」を目的に、2年生の活動(家庭科(家庭基礎)の授業で家庭クラブ活動として実施)を中心に、学校全体で協働して実施。

2019年6月8日(土)9:30～13:30 茨城県立土浦湖北高等学校 文化祭一般公開

■文化祭来校者へ振り込め詐欺等防止啓発活動を実施

今後の活動で使用していくスローガン・ポスターについて投票を依頼

文化祭(湖北祭)一般公開日に来校した方々に振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけるとともに、今後の活動で使用していくスローガンとポスターを決める投票を依頼した。

スローガンとポスターについては、5月の連休中に課題として生徒それぞれが作成しており、その中からクラス毎に1～2作品を選出し、来校者の目に触れやすい1階昇降口の正面に掲示した。ポスターと共に、ポスター作成を通して分かったことや考えたことなど、生徒それぞれの感想も掲示していたこともあり、来校した保護者や高齢者が熱心に内容を確認していた。

また、土浦警察署から、署作成の「ニセ電話詐欺」の被害防止を呼びかけるのぼり旗および配布物(チラシ、ポケットティッシュ)を提供いただき、これらを来校者に掲示・配布して振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。

併せて、掲示したスローガン・ポスターから学年としてさらに選抜した数点について、良いと思ったもの1点に投票していただくよう、来校者に声がけを行った。

今回の投票で選出したスローガンおよびポスター各1点は、今後の活動における配布物等に使用していくことを予定している。

【準備の様子】



【振り込め詐欺等防止啓発活動コーナー】



【スローガン・ポスター等】



【土浦警察署からの設置物・配布物】



2019年8月3日(土)13:00~16:30 アルカス土浦1階ラウンジ

■学祭 TSUCHIURA2019 において振り込め詐欺等防止啓発活動を紹介

土浦市内にあるすべての高等学校(10校)が集結する土浦市および土浦市教育委員会主催のイベント「学祭 TSUCHIURA2019」の学校紹介ブースにおいて、振り込め詐欺等防止啓発活動で作成したポスター等の掲示を行った。

本イベントは、小中学生を対象に、土浦の高校生活のイメージ向上を図るとともに、市民や高校OB・OGの愛着心を喚起することを目的としたもので、昨年から続き2回目の開催となる。

会場となったアルカス土浦1階ラウンジに、土浦市内の高等学校10校の学校紹介ブースが設けられ、学校紹介ポスターやパンフレット等が掲示された。

土浦湖北高等学校のブースでは、学校紹介物(ポスター、のぼり旗、学校案内パンフレット、記念誌等)と併せて、6月の文化祭の投票で選出された振り込め詐欺等防止啓発活動のポスターおよびスローガン(「注意して 本当ですか その話」)、振り込め詐欺被害防止を訴える掲示物等を貼り出して、振り込め詐欺等防止啓発活動を紹介した。

開始時間になると、多くの来場者が学校紹介ブースを訪れた。生徒は、土浦警察署から提供された振り込め詐欺等の防止啓発グッズやチラシを配布したり、熱心に掲示内容を確認する来場者に活動の様子を説明、質問に答えるなど対応していた。

【学校紹介ブースの様子】



【ポスター・スローガン、掲示・配布物】



2019年9月27日(金)11:45～12:35 茨城県立土浦湖北高等学校 武道場

■講義「金融犯罪の手口と対策」を実施(講師:全国銀行協会)

振り込め詐欺等防止啓発活動をさらに進めていくにあたり、振り込め詐欺等の特殊詐欺に関する知識を深めるため、全国銀行協会職員から講義を受けた。当日は、1学期から調べ学習や、啓発活動で使用するスローガン・ポスター制作などに取り組んできた2年生238名が参加した。

はじめに、生徒たち自身が消費者トラブルに遭う危険度について心理テストを実施した。いくつかの質問に対する回答内容から「トラブルに対して危機意識が薄い」、「だまされているのに気づかない」、「だまされたときに一人で抱え込んでしまう」等、生徒自身の性格や傾向が認識できたところで、本日は振り込め詐欺等特殊詐欺の手口と対策、振り込め詐欺の防止に向けた取組み、他校での取組事例について講義することが伝えられた。

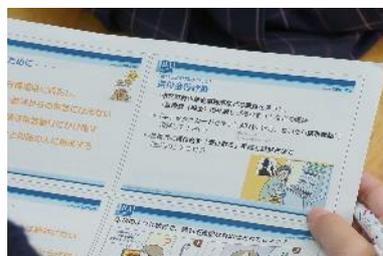
まずは、さまざまな特殊詐欺の手口について、再現動画を交えながら確認していった。被害全体の発生状況(2018年の全国の被害件数は約16,500件、被害額は364億円にも上ること、特殊詐欺の被害者の7割が70歳代以上であることなど)から、被害額が1日当たり1億円という深刻な状況を知り、生徒たちは驚いている様子であった。

その後、金融機関の窓口での声かけや、ATMの利用限度額の引き下げ奨励、不審な口座開設の排除等、金融機関の取組みを紹介したうえで、今後の活動の参考としてもらうため、過去3年間の高校生による振り込め詐欺等防止啓発活動の活動内容を紹介した。

最後に地域での啓発活動の際に気をつけて欲しいポイントとして下記3点が伝えられた。

- ・伝えるポイントを絞る
- ・「自分ゴト化」してもらう
- ・行動を促すような、ポジティブな伝え方を心がける

【講義の様子】



2019年11月1日(金)8:00~8:15 JR常磐線神立駅

■さわやかマナーアップキャンペーンにおいて啓発グッズ配布

JR常磐線神立駅において「さわやかマナーアップキャンペーン」(挨拶運動)と併せて、振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。

茨城県では11月を「いばらき教育月間」として定め、県民の教育に対する関心と理解を深めることを目的に様々な取組みを推進しており、その一環として、各学校では生徒が最寄り駅などで挨拶を行う「さわやかマナーアップキャンペーン」を実施している。

土浦湖北高等学校は、11月1日(金)にJR常磐線神立駅において本キャンペーンを実施し、これと併せて駅利用者に振り込め詐欺等防止啓発グッズ(ポケットティッシュ)を配布し、振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。

【活動の様子】



■土浦警察署長から「ニセ電話詐欺防犯標語表彰」を受賞

5月にクラス単位で制作した本活動のスローガンのうち以下2点について、「ニセ電話詐欺」の防止に効果的であるとして土浦警察署長から表彰されることとなり、株式会社鈴文(土浦市の葬儀社)で表彰式が行われた。

最優秀賞「一人では 決めない 会わない 振り込まない」

優秀賞「わかっていますか家族の声 決めていますか合言葉」

「関係ない いえいえ次は あなたの番です」

はじめに、土浦警察署 坂井誠署長よりお話をいただいた。

〈坂井署長〉

- ・9月末現在、茨城県内のニセ電話詐欺被害件数は274件で昨年同時期より20件増、被害総額は約4.3億円にのぼり、全国で見ても1日1億円の被害が発生している。
- ・高校生のこのような取組みは地域住民への啓発・注意喚起としてとても重要であり、継続して欲しい。警察としても、ニセ電話詐欺の発生抑止に力を注いでいく。

続く表彰式では各クラスの代表者が表彰を受け(最優秀賞:2年4組(米田亜衣美さん)、優秀賞:2年2組(大和田翔心さん)、3組(森本明日香さん))、若林教諭と米田さんから挨拶を行った。

〈若林教諭〉

- ・本取組みは昨年度から家庭科授業の中で継続してきたもの。
- ・今年度は全国銀行協会から振り込み詐欺等防止啓発活動の委嘱を受け、職員からの講演もあって具体的な詐欺の手口や事例を知ることができた。また、犯罪の被害者だけでなく加害者にもならないよう学びを深めることができた。
- ・今後も地域社会に貢献できるよう、この取組みを継続していきたい。

〈米田さん〉

- ・活動前は詐欺被害に遭う人がこれほど多いと知らなかったが、活動を進めて行く中で手口に合わせた対策なども知ることができた。多くの人に知ってもらい被害を減らす活動を進めていきたい。

【表彰式の様子】



2019年11月10日(日)10:00~10:30 日立建機株式会社

■日立建機フェスティバルにおいて振り込め詐欺等防止啓発活動を実施

振り込め詐欺等防止啓発活動の一環として、神立商工会と共同で第15回日立建機フェスティバルの来場者に対して、振り込め詐欺等防止の呼びかけと啓発グッズの配布を行った。

本フェスティバルは日立建機株式会社 土浦工場で開催されたもので、工場見学や建設機械の展示の他、地元特産品の販売や子ども向けイベントなども実施され、地元の方々をはじめ多くの人が来場した。

当日、土浦湖北高等学校からは2年生8名が参加し、神立商工会の方々と一緒に来場者に啓発グッズを手渡し、振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。(午前中までの来場者:約5,000人)

【当日の様子】



■フェスティバル神立 2019 において振り込め詐欺等防止啓発活動を実施

フェスティバル神立 2019(主催:神立商工会振興会、後援:土浦市・かすみがうら市)において、振り込め詐欺等防止啓発活動で作成したのぼり旗やポスター等の掲示、ポケットティッシュやキーホルダー等の配布を行った。

「フェスティバル神立」は地域の賑わいづくりを目的に開催されたイベントで、今回で30回目の開催となる。高校生が日頃の部活動等を披露する「高校生文化祭甲子園」、高校生と地元お菓子店がコラボする「クッキング甲子園」をはじめ、模擬店やフリーマーケット、大抽選会などが行われ、例年多くの方が来場している。

土浦湖北高等学校の出展テントでは、地元菓子店「志ち乃」とコラボしたどら焼きの販売と併せ、振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。

当日は8時頃から1学年および3学年の生徒が集まり、どら焼きの販売準備とともに、振り込め詐欺等防止啓発活動ののぼり旗やポスターの掲示、ポケットティッシュなど配布物のセッティングを行った。

開始時間の9時になると多くの来場者が会場に集まり始め、生徒たちは、振り込め詐欺等防止啓発グッズの配布や取組みの説明を行っていった。

12時からの「高校生文化祭甲子園」では10分間、メインステージで振り込め詐欺等防止啓発活動について発表を行った。

最初に、茨城県内では特殊詐欺の被害件数・被害額が昨年度よりも増加していること、これを踏まえて対策等を知って欲しい旨を伝えたくて、特殊詐欺の手口や対策をテーマとした〇×クイズを出題していった。続いて、今までに作成したポスターや調べ学習等のまとめを提示しながら、特殊詐欺被害に遭わないための対策、相談窓口(警察相談専用電話#9110)等を紹介した。

最後に、この活動をするまでは簡単に騙されるはずはないと思っていたが、実際の手口や被害状況を知ること、誰が被害に遭ってもおかしくないことが分かったこと、今後も振り込め詐欺等防止啓発活動を継続し、地域の方々が被害に遭わないよう活動していきたい旨を伝え、発表を終了した。

ステージ発表後は会場内をまわり、来場者にポケットティッシュやキーホルダーを配布しながら、被害防止を呼びかけていった。

【活動紹介テントの様子】



【メインステージでの発表(高校生文化祭甲子園)の様子】



【会場での啓発グッズ配布の様子】



2019年12月3日(火)・12日(木)、2020年1月21日(火)、23日(木)8:00～8:15

茨城県立土浦湖北高等学校

■朝の挨拶運動において啓発グッズ配布

学校周辺において「朝の挨拶運動」において、振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。

のぼり旗を掲げ、家庭科授業での取組みを伝えながら、振り込め詐欺等防止啓発グッズ(キーホルダー・ポケットティッシュ)を配布し、振り込め詐欺等の被害防止を呼びかけた。

【活動の様子】



■「特別養護老人ホームこほく」において振り込め詐欺等防止啓発活動を実施

特別養護老人ホームこほくにて、振り込め詐欺等防止に関する啓発活動を行った。

「特別養護老人ホームこほく」は、土浦湖北高等学校から徒歩15分の場所にある施設で、昨年度から本校と連携を図り、施設利用者に向けた振り込め詐欺等防止啓発活動やボランティア活動を定期的に実施している。

今回はデイサービス利用者を中心とした21名の施設利用者を対象に活動を行った。

はじめに、〇×クイズで特殊詐欺について確認を行った。クイズは「詐欺被害者の性別は男性が多い」、「息子から電話番号を変えたと言われ、番号を登録し直した」、「オレオレ詐欺に備え身内だけが分かる合言葉を決めておく」の3問で、参加者はクイズを楽しみながら特殊詐欺の対策を考えている様子であった。

続いて、今までに作成したポスターや調べ学習などのまとめを提示しながら、特殊詐欺の被害に遭わないための対策、相談窓口(警察相談専用電話#9110)について説明を行った。また、「この活動をするまでは簡単に騙されるはずがないと思っていたが、実際の手口や被害状況を知ること、誰が被害に遭ってもおかしくないことが分かった」など、本活動を通じた感想も伝え、自分事として特殊詐欺の対策を考えてほしいことを伝えていった。

発表後は、ポケットティッシュやキーホルダーを一人ひとりに配布しながら、被害に遭わないよう改めて呼びかけていった。

若林教諭からは、昨年度から取組みを進めてきた振り込め詐欺等防止啓発活動は、次年度以降も継続していくこと、次回は施設利用者の方々に来校いただき、生徒と一緒に活動できるよう準備を進めていきたい旨が伝えられ、活動は終了した。

【活動の様子】



2020年2月14日(金)9:30～10:00 土浦警察署4F 武道場

■土浦警察署長から感謝状を受領

1年間の振り込め詐欺等防止啓発活動に対して、土浦警察署より令和元年度感謝状が贈呈された。

土浦警察署 坂井誠署長の挨拶、警察活動に対する理解と協力へのお礼に続き、受賞者(団体・個人)に感謝状が贈られた。最後に受賞者及び土浦警察署関係者で記念撮影を行った。

【贈呈式の様子】



2020年2月26日(水)15:00～16:00 常陽銀行神立支店

■常陽銀行神立支店との交流会を実施

振り込め詐欺等防止啓発活動の一環で、本校が作成した啓発グッズ(のぼり旗、ポスター)の掲示に協力いただいている常陽銀行神立支店との交流会が開催された。

当日は、1学期から調べ学習や、啓発活動で使用するスローガン・ポスター制作などに取り組んできた2年生12名が参加した。

前半は行員からの講話で、現在の景気動向や銀行の役割、職業人としての考え方や行動の仕方、仕事のやりがいや難しい部分など、実体験を交えて伝えられた。また、銀行業務体験として模擬紙幣を使った札勘体験(縦読み・横読み)も行い、行員から、2通りの数え方をすることで数え間違いを防いでいること等が伝えられた。

後半は、実際に業務が行われている銀行内の見学を行った。お金を数えるための紙幣・硬貨計算機や大型金庫、融資の相談などを行うセミナールームを見て回った。初めて見る機器や設備に、生徒たちはとても興味を示していた。

生徒たちはこれまで振り込め詐欺等防止啓発活動を通じて、銀行の業務等について一定程度理解してきたところだが、今回あらためて実際に現場で働く銀行員から話を聞いたことで、本活動の意義を再確認するとともに、自分と銀行とのつながりや将来の働き方について改めて考えるきっかけとなった様子であった。

今後も交流を深め、学校と銀行が協力して地域での振り込め詐欺等防止啓発活動を継続していくことを確認し、交流会は終了した。

【交流会の様子】



各活動における啓発グッズの配布実績

活動／配布先	日付	ミニ のぼり	キー ホルダー	ポスター	三角 POP	ポケット ティッシュ
kohokuオープンスクール 第1回	7月23日（火）					100
kohokuオープンスクール 第2回	8月27日（火）					
さわやかマナーアップキャンペーン	11月1日（金）					800
日立建機フェスティバル	11月10日（日）			5	405	1215
フェスティバル神立2019	11月24日（日）		1050		250	900
朝の挨拶運動 第1回	12月3日（火）		150			50
朝の挨拶運動 第2回	12月12日（木）					
特別養護老人ホームごほく訪問	12月13日（金）		90	3	25	60
朝の挨拶運動 第3回	1月21日（火）					40
朝の挨拶運動 第4回	1月23日（木）					
株式会社鈴文			30		5	20
神立駅前郵便局		1		5	5	20
神立商工会		1		5	5	15
商店・コンビニエンスストア等		2		43	10	30
保育園				3		
常陽銀行神立支店		1	90	3	15	70
土浦警察署			60	5	10	70
土浦市役所				5	*諸規定により掲示不可	
配布数合計		5	1470	77	730	3390

各媒体における紹介

- Jコムチャンネル茨城「デイリーニュース」 2019年11月12日（火）（本件放送時間は2分6秒）
月～金 17:00～17:20 放送（ 21:00～21:20、22:00～22:20、23:00～23:20 再放送）
- 茨城新聞 2019年11月22日（金）
標語上位入賞者を表彰 ニセ電話詐欺防止 土浦署 土浦湖北高の3人
- 2020年3月1日（日）土浦湖北高等学校 PTA 会報 第80号
フェスティバル神立 11・17

1年間のまとめ

この1年間、振り込め詐欺等防止啓発活動を行ってきた2年生4名と担当の若林教諭に、1年間の活動について振り返ってもらった。

〈生徒の振り返り〉

①活動を通して感じたことや考えたこと

- ・チラシやポケットティッシュをたくさん配布することは大変だったが、みなさん快く受け取ってくれた。様々な場面で配布することで、多くの人に特殊詐欺について考えてもらうことができたのではないかと思った。
- ・楽しみながらこの活動をすることができた。
- ・初めての活動だったので参加する前は不安もあったが、一緒に活動を行った級友たちや周りの方の支えもあり、しっかりと活動することができた。
- ・自分たちは特殊詐欺には関係ない、大丈夫だと思っていたが、活動を通して特殊詐欺には多くの種類があること、自分が被害者だけでなく加害者になり得ることもあるということを実感した。

②活動を通して自分自身で変わったと思うところ

- ・活動の楽しさや大切さを知った。
- ・自分から挨拶をしたり話しかけたりするのが少し苦手だったが、この活動を通して多くの人と関わることによって改善することができたと思う。
- ・遠くに住んでいる祖父母に特殊詐欺には気を付けるよう伝えたり、日々の出来事を連絡したりするようになった。

③今後どのような活動をしていきたいか、日常生活で気を付けていきたいか

- ・身近な人たちに特殊詐欺について知ってもらったり防止策について教えたりできるよう、他のボランティア活動に参加できたらと思っている。
- ・啓発活動に積極的に参加して、一人でも多くの人が騙されないようにするために、自分でできることをしていきたい。
- ・特殊詐欺被害に遭わないように家族と話し合ったり、対策を考えたりしていきたい。
- ・怪しい電話が来たら家族に相談したり、何でもすぐに信じてしまわないようにしたり、お互いに助け合っていきたい。

〈担当教諭の振り返り〉

①活動を振り返っての感想

- ・多くの生徒が様々な活動に参加することができたため、体験活動の充実を図ることができた。
- ・生徒たちが身近に感じることのない「(特殊)詐欺」を知るきっかけになった。
- ・啓発ポスターの掲示を依頼した担当者から、「最近、実際に被害に遭いそうになった方がいたの

で、ポスターが1枚あるだけで意識が変わります」と言われた。

- ・講演(全国銀行協会)を聞いて、現状の理解が深まったり、啓発活動を行う際の注意点等を確認したりすることができた。高校生にとっては活動の充実ばかりでなく、自分自身が加害者にならないための視点を持つことも大切であることが分かった。
- ・体験活動に参加する生徒を固定せず、多くの生徒が参加できるよう活動ごとに募集をしたことで、生徒が無理なく参加でき、活動の充実につなげることができた。
- ・調べて終わり、作って終わりではなく、そのさらに先に本当の価値が存在するのだと改めて気づかされた1年であった。

②生徒たちの成長の様子

- ・生徒自身が考えて行動することができるようになった。
- ・様々な活動に積極的に参加するようになった。
- ・内気な生徒でも、一般の方に積極的に啓発グッズを手渡しに行くなど積極性が出てきた。
- ・啓発活動のための外部イベントに率先して参加する生徒が増えた。
- ・本活動を通して社会性や積極性、協調性を育んだ生徒が多くいた。

③これからの活動について(現時点で想定していることなど)

- ・土浦警察署や神立商工会との連携による啓発活動実施
- ・常陽銀行神立支店との交流と啓発活動実施
- ・文化祭での調べ学習内容等の掲示
- ・さわやかマナーアップキャンペーン、朝の挨拶運動でのぼり掲示、啓発グッズ配布
- ・フェスティバル神立 2020 で啓発活動、啓発グッズ配布
- ・特別養護老人ホームこほくとの連携

若林教諭は、これからも地域や学校における様々な活動の中で啓発活動を繰り返し行い、意識付けや活動の輪を広げていきたいと話した。

〈事前・事後アンケート〉

- ・本活動の事前・事後に分けて、同じ生徒を対象に、特殊詐欺の知識や意識についてアンケート調査を実施(「3.今後も詐欺防止への啓発活動を続けていきたいですか」は事後のみの項目)。
- ・本活動を通じて、特殊詐欺の手口(特に還付金詐欺)の理解度が向上した。また、啓発活動において繰り返し伝えていく事の重要性を学習したことが影響し、警察や自治体に望むこととして「継続的な情報発信」の数値が伸びた。
- ・今後も啓発活動を続けていきたいかの問いに対しては、91%の生徒が継続したいと回答。実際に家族や祖父母に特殊詐欺について話をしたという生徒も多数いたほか、啓発活動の機会があれば参加したいという意欲を示す生徒もいた。

【対象生徒数 事前(2019年):235名(1学年) 事後(2020年):180名(2学年)】

